

現状と重点課題

分野別の取り組みと目標値

現状

《がんによる死亡者》

本県では約3,500人ががんで亡くなり、死因の第1位
(全死亡者の約3割、50～70歳代では4割以上)
○75歳未満年齢調整死亡率(H28)では、胃がんが全国値を上回っている
※県8.6 全国8.5 (人口10万対)
※その他の部位は全国値を下回っている
※(参考:H27)県:11.6 全国9.1(人口10万対)
○働く世代(40～64歳)の死亡率(H28)では、胃・乳がんが全国値を上回っている
※胃:県15.2 全国12.9、乳:県25.9 全国24.3 (人口10万対)
※乳がんについては、40～59歳の死亡率をみると、全国値との差が更に大きくなっている。(県26.1 全国21.1(人口10万対))

《罹患状況》

○年齢調整罹患率(H25)では、特に胃がんが全国値を大きく上回っている
※県64.7 全国50.9(人口10万対)
※他に大腸・肝・乳がんが全国値を上回っているが、その差は10ポイント未満
※(参考:H24(胃がん))県:63.4 全国51.7 (人口10万対)

《がん検診受診率》

目標50%に達していない
胃12.9%、肺33.8%、大腸26.6%、乳29.6%、子宮27.5% (H27)

《精密検査受診率》

目標90%に達していない
胃88.6%、肺89.6%、大腸75.7%、乳92.2%、子宮81.1% (H26)

重点課題

- 1. がん検診受診率向上
2. 胃がん・働く世代(40～64歳)の乳がんの予防対策の強化
3. たばこ対策の充実
4. がん患者が必要に応じた医療を受けられるがん医療提供体制
5. 小児・AYA世代のがんへの支援

施策の柱 1. 予防の強化と早期発見の推進

(1)がんにかからない生活習慣の確立
①子どもの頃からの正しい知識の普及
②望ましい生活習慣の確立
③たばこ対策の充実、強化
④ウイルスや細菌など感染の予防
(2)がんの早期発見体制の強化
①検診受診率の向上
②効果的検診手法等の普及
③検診精度の向上

施策の柱 2. 質の高い医療の確保

(1)質の高い医療が受けられる体制の充実
①富山県のがん診療体制の強化
②手術療法、放射線療法、薬物療法、支持療法のさらなる充実とチーム医療の推進
③がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上
④がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応
(2)調査・研究の推進
①がん登録の推進
②臨床研究の推進

施策の柱 3. 患者支援体制の充実

(1)がん患者の支援体制の充実
①患者及びその家族の相談支援の充実
②在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実
③がん患者の活動支援
④がんの教育・普及啓発
(2)働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実
①がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応
②小児・AYA世代のがん対策
③高齢者のがん対策

○は今期計画から新たに取り入れた事業及び目標